

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 06-04-02	事務事業名 子育て支援ショートステイ事業	所管部課 子育て支援部 子ども家庭支援センター
-------------------	-------------------------	-------------------------------

施策コード 創2-2	施策名 子育て支援の促進	施策目標 子どもを安心して産み、健やかに育てられる環境づくりを進めます。
---------------	-----------------	---

事務事業の概要	事務事業の目的	根拠法令等
	児童を養育している保護者が疾病等の事情により、児童の養育が一時的に困難となった場合に一時的に入所養育させることにより、児童及び家庭の福祉向上を図る	<input type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する 対象児童はおおむね2歳～12歳(小学6年生まで)。保護者が入院や出産、育児疲れ等により家庭で養育できない場合、市内の児童養護施設(聖ヨゼフホーム)で8時～19時の間で養育する。宿泊も可能で最高7日間まで。利用者の負担額は一日3,000円で、非課税世帯は一日1,500円、生活保護受給世帯は無料。食費は別途自己負担。一日の定員は2名まで受入れ可。 予算) 民生費・児童福祉費・児童福祉総務費(子育て支援ショートステイ事業費)	
事業開始時期	19 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

項目	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
事業費(A)		2,122	2,295	2,813	3,622
財源内訳					
国庫支出金・都支出金		1,554	1,691	2,522	2,717
地方債	千円	0	0	0	0
その他()		0	0	0	0
一般財源		568	604	291	905
所要人員(B)	人	0.4	0.4	0.4	0.4
人件費(C)=平均給与×(B)	千円	3,266	3,232	3,232	3,266
臨時職員賃金等(C')	千円	0	0	0	0
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')	千円	5,388	5,527	6,045	6,888
単位当たりコスト(E)=(D)/(年間利用者数)	千円	59	50	27	0

活動等指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
① 利用可能な年間人数	実績値 人	730	730	730	732
②	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 ショートステイの受入れは一日2名。現在の施設で利用可能な最大人数の数値。					
成果指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度
一 年間利用者数	目標値 人				222
	実績値 人	91	111	222	
二 次	目標値				
	実績値				
《指標の説明・数値変化の理由 など》 子育て支援施策である本事業をPRし、保護者の疾病や就労、育児に悩む保護者に代わって子どもを預かるサービスとして市民周知を図り、利用者数増に繋げる。					

事業環境等	市民・関連団体等の意見(アンケート結果など)	西東京市次世代育成支援行動計画ニーズ調査報告書(H21.3月)におけるショートステイ認知度は、未就学児童の保護者で19.0%、就学児の保護者で7.9%であった。認知はあまり高くない。
	都内26市のサービス水準との比較(平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下 24市で実施している。利用料金は1,500円～4,000円となっている。宿泊のみを受付けている自治体もある。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 一部の保育園で実施している一時保育と緊急一時保育。但し、宿泊は不可。

事業コード 06-04-02	事務事業名 子育て支援ショートステイ事業	所管部課 子育て支援部 子ども家庭支援センター
-------------------	-------------------------	-------------------------------

施策コード 創2-2	施策名 子育て支援の促進	施策目標 子どもを安心して産み、健やかに育てられる環境づくりを進めます。
---------------	-----------------	---

【一次評価】

検証項目		ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	3	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>保護者が入院や出産等により家庭で養育ができない状況にある2歳～12歳の児童を対象として、市内の児童養護施設で預かっている。養育疲れ等の理由でも利用可能なため、虐待防止事業の一環にもなり、必要な事業と考えられる。</p> <p>子育て家庭を支援することと同時に、育児に疲れた保護者への休息の場としての利用にも繋がりがつつある。</p> <p>対象児童が2歳～12歳と幅広いので、兄弟での利用も多い。</p> <p>本事業の他、市内において宿泊で養育を行う事業はない。</p>	
	事業の必要性	3	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施		
	事業主体の妥当性	3	<input type="checkbox"/> 改善・見直し		
B	直接のサービスの相手方	2	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し		
	事業内容等の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 休止		
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止		
C	市民ニーズの把握	2	<input type="checkbox"/> 廃止		
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目					

【二次評価】

検証項目		ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等	
A	事業の優先度 (緊急性)	2	<input type="checkbox"/> 拡充	<p>養育疲れを癒すための児童の受け入れ事業として、相談事業との連携が図られ、利用者の状況に応じた適切な対応がなされている。その一方でリピーターが増加し、利用者の固定化傾向にあると考えられるため、事業の認知度が向上するよう市民周知を行うとともに、虐待予防効果の検証など利用者意見についての調査を行い、適切な利用環境の整備を図られたい。</p>	
	事業の必要性	2	<input checked="" type="checkbox"/> 継続実施		
	事業主体の妥当性	2	<input type="checkbox"/> 改善・見直し		
B	直接のサービスの相手方	1	<input type="checkbox"/> 抜本的見直し		
	事業内容等の適切さ	2	<input type="checkbox"/> 休止		
	受益者負担の適切さ	3	<input type="checkbox"/> 廃止		
C	市民ニーズの把握	1	<input type="checkbox"/> 廃止		
検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目					

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>本事業は、養育疲れを癒すための事業としての機能にとどまらず、相談事業との連携が図られ、利用者の状況に応じた適切な対応がなされている点について、高く評価できる。ただし、二次評価で指摘されている利用者の固定化傾向との課題に対応し、引き続き適切な利用環境の整備に努められたい。</p>